

沼 建 道 第232号
平成29年12月21日

国土交通大臣 石井 啓一 様

沼津市長 大沼 明穂



社会資本総合整備計画の事後評価の報告について

下記計画について、社会資本整備総合交付金交付要綱第10第1項に基づき、社会資本総合整備計画の事後評価を行いましたので報告します。

記

スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出

社会資本総合整備計画 事後評価書

平成 29 年 11 月 30 日

計画の名称	34 スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出																																				
計画の期間	平成24年度 ～ 平成28年度 (5年間)					交付対象	沼津市																														
計画の目標	<p>現在沼津市には、新東名高速道路と東名高速道路と合わせて2路線の高速道路があり、ダブルネットワークを形成している。このダブルネットワークの有効活用を図るため、東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアへのスマートインターチェンジを設置する。</p> <p>これにより、沼津市の重要拠点と位置付けられている沼津駅、原駅、沼津港、片浜工業地域、浮島工業団地、新貨物駅と高速道路とのアクセス性を向上させることで、人・物のさらなる交流を促し、魅力と活力にあふれ、にぎわいに満ちたまちづくりを図る。</p> <p>また、防災拠点として高速道路を活用するとともに、静岡県東部地域唯一の第三次救急医療機関である沼津市立病院とのアクセス性を向上させ、安心・安全なまちづくりを図る。</p>																																				
計画の成果目標（定量的指標）	<ul style="list-style-type: none"> 東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアへのスマートインターチェンジの設置 沼津市の各拠点(市内7箇所)と高速道路IC間の移動時間の短縮を図る。 																																				
定量的指標の定義及び算定式	<table border="1"> <thead> <tr> <th rowspan="2"></th> <th colspan="5">定量的指標の現況値及び目標値</th> <th rowspan="2">備考</th> </tr> <tr> <th>当初現況値 (H24当初)</th> <th>中間目標値 (H24末)</th> <th>最終目標値 (H28末)</th> <th colspan="2"></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>① 東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアの2箇所へのスマートインターチェンジの設置</td> <td>0箇所</td> <td></td> <td>2箇所</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> <tr> <td>② 道路整備による沼津市の各拠点(市内7箇所)と高速道路IC間の移動時間 Σ各拠点と高速道路IC間の移動短縮時間(時間) / Σ現況移動時間(時間) = 移動時間短縮率(%)</td> <td>0%</td> <td></td> <td>35%</td> <td colspan="2"></td> <td></td> </tr> </tbody> </table>												定量的指標の現況値及び目標値					備考	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H28末)			① 東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアの2箇所へのスマートインターチェンジの設置	0箇所		2箇所				② 道路整備による沼津市の各拠点(市内7箇所)と高速道路IC間の移動時間 Σ各拠点と高速道路IC間の移動短縮時間(時間) / Σ現況移動時間(時間) = 移動時間短縮率(%)	0%		35%			
	定量的指標の現況値及び目標値					備考																															
	当初現況値 (H24当初)	中間目標値 (H24末)	最終目標値 (H28末)																																		
① 東名高速道路愛鷹パーキングエリア及び新東名高速道路駿河湾沼津サービスエリアの2箇所へのスマートインターチェンジの設置	0箇所		2箇所																																		
② 道路整備による沼津市の各拠点(市内7箇所)と高速道路IC間の移動時間 Σ各拠点と高速道路IC間の移動短縮時間(時間) / Σ現況移動時間(時間) = 移動時間短縮率(%)	0%		35%																																		
全体事業費	合計 (A+B+C)	2,192百万円	A	2,191百万円	B	0百万円	C	1百万円	効果促進事業費の割合 C / (A+B+C)	0.1%																											
事後評価																																					
○事後評価の実施体制、実施時期																																					
事後評価の実施体制						事後評価の実施時期																															
社会資本総合整備計画の事後評価として沼津市事後評価監視委員会で実施						平成29年11月																															
						公表の方法																															
						沼津市公式ホームページ																															
1. 交付対象事業の進捗状況																																					
交付対象事業																																					
A 地方道路整備事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	道路種別	省略工種	要素となる事業名 (事業箇所)	事業内容 (延長・面積等)	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考																			
34-A1	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市道	改築	(1) 市道0118号線ほか1路線	道路改築 L=1.98km	沼津市	H24	H25	H26	H27	H28	752	○																				
34-A2	道路	一般	沼津市	直接	沼津市	市道	改築	(2) 市道0275号線ほか6路線	道路改築 L=3.10km	沼津市						1,439	○																				
											合計					2,191																					
C 効果促進事業																																					
番号	事業種別	地域種別	交付対象	直接間接	事業者	省略工種	要素となる事業名	事業内容	市町村名	事業実施期間(年度)					全体事業費 (百万円)	進捗状況	備考																				
34-C1	利用促進	一般	沼津市	直接	沼津市	利用促進	ソフト施策事業	パンフレット作成ほか	沼津市	H24	H25	H26	H27	H28	1	○																					
											合計					1																					
番号	一体的に実施することにより期待される効果																備考																				
34-C1	アクセスルートの延長が長く、市道の付け替えも伴うため、広報資料等を作成し、利用者にスマートインターチェンジへの安全な誘導を図る																																				

2. 事業効果の発現状況、目標値の達成状況

I 定量的指標に関連する 交付対象事業の効果の発現状況	東名高速道路愛鷹スマートインターチェンジ (H28.3.19開通) 及び新東名高速道路駿河湾沼津スマートインターチェンジ (H29.3.18開通) が設置された。 沼津市の各拠点(市内7箇所)と高速道路IC間の移動時間短縮率は48%を達成した。																
II 定量的指標の達成状況	指標① スマートインターチェンジの設置(箇所)	最終目標値	2箇所	目標値と実績値に差が出た要因													
		最終実績値	2箇所														
	指標② 道路整備による沼津市の各拠点と高速道路IC間の移動時間 移動時間短縮率(%)	最終目標値	35%	目標値と実績値に差が出た要因													
		最終実績値	48%														
III 定量的指標以外の交付対象事業の効果の発現状況 (必要に応じて記述)	<p>○愛鷹スマートIC</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通量は計画を上回り、直近で約4,000台/日が利用(計画 3,800台/日) 片浜工業地域から東名高速道路沼津ICまでの所要時間が約7分短縮 <p>○駿河湾沼津スマートIC</p> <ul style="list-style-type: none"> 交通量は計画を下回るものの徐々に増加傾向である。(6カ月データ取集中) 原西部地区から東名高速道路御殿場JCTまでの所要時間が約16分短縮 																

3. 特記事項(今後の方針等)

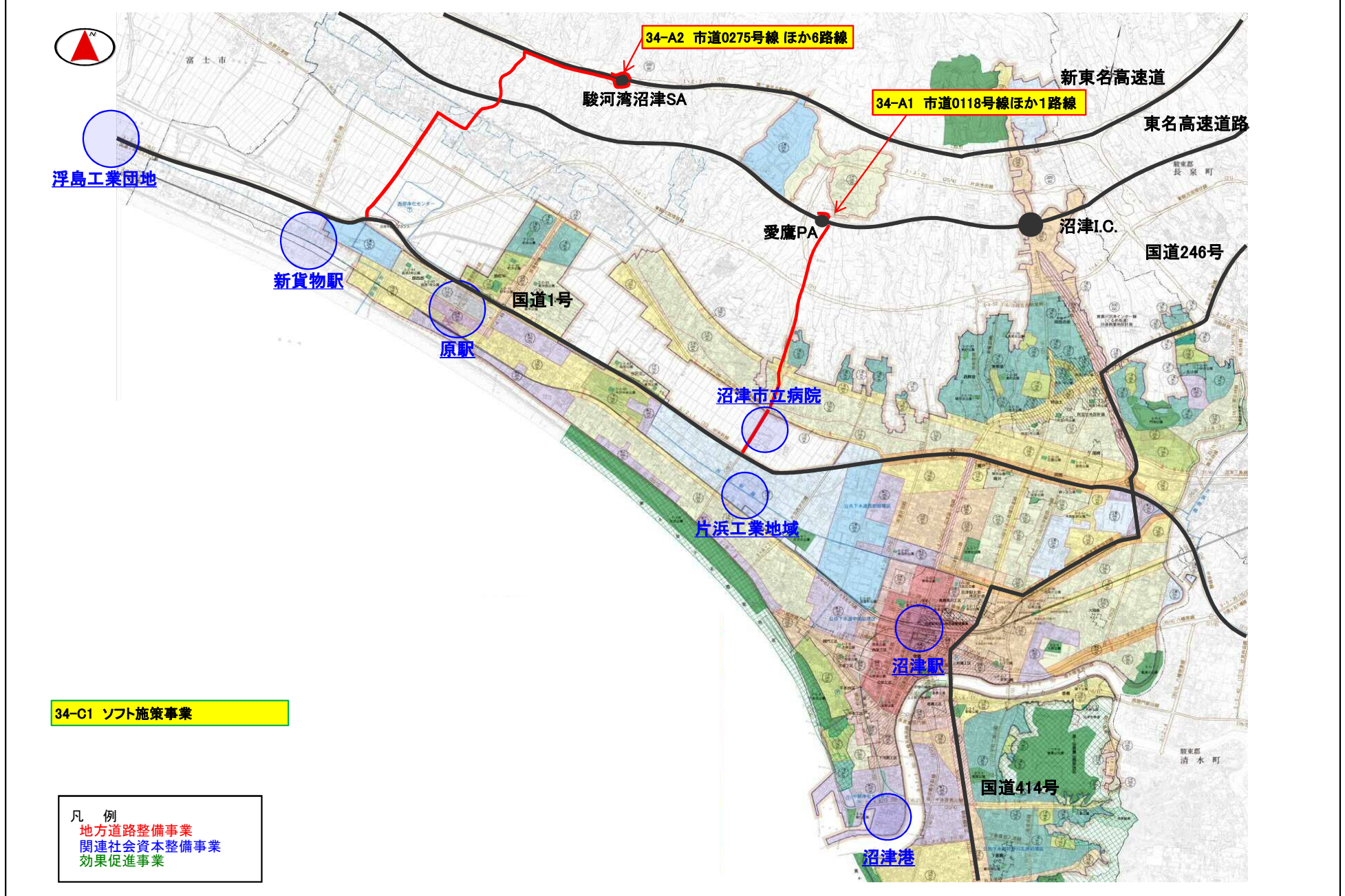
本計画は終了するが、現在、本市への交流人口の促進を図るため、スマートIC周辺の観光資源を活用した旅行商品の企画などに取り組んでいる。今後も、スマートICの利便性を活かした施策を実施することにより、本市西部地域の活性化に向けて取り組んでいく。

(様式第8)

社会資本総合整備計画（活力創出基盤整備）

参考図面

計画の名称	34 スマートインターチェンジ設置による新たな交通ネットワークの創出	交付団体	沼津市
計画の期間	平成24年度～平成28年度（5年間）		



34-C1 ソフト施策事業

凡例
地方道路整備事業
関連社会資本整備事業
効果促進事業